

町制施行間近 記念事業等が決定

横越村が町となること、六月県議会で議決されたことに伴い、自治省への届出・官報告示をもって十一月一日に「横越町」が誕生する見込みですが、横越町が誕生すれば、県内では南蒲原郡中之島町以来十年ぶり、五十七番目の町となります。

町制施行については、平成四年三月村議会の施政方針で、浅見村長が、より発展とイメージアップを図るため「五年以内に町制をめざしたい」と表明して以来、町としての条件整備や住民の合意形成など準備を進め、昨年一月には役場内で佐藤助役を総括者とする「町制施行プロ



町制施行推進委員会会議

ジェクトチーム」を設置し、事業推進の調査研究を重ね計画の立案に当たってきたところですが、なお、これが広く村民の理解と協力を得て、全村民が喜び合える横越町の誕生とするため、村内の各界各層からなる七十一人の「町制施行推進委員会」を発足させ、二度にわたって提言や意見を求めた結果、記念式典をはじめ次のような事業等を行うことに決定しました。

▼新聞広告

十一月一日に新潟日報朝刊で横越町の誕生について掲載します。

▼記念式典

十一月一日に総合体育館を会場に開催します。

午前七時に花火を打ち上げます。

記念植樹として松を植えます。

▼記念事業

十月十八日(金)に総合体育館で、午後六時から午後八時にかけてNHKのラジオ公開録音番組「ふるさと自慢・うた自慢」を実施します。(詳しくは説明を参照)

テレビ新潟企画番組「二〇〇一年」(五十五分)を製作して十二月下旬頃に放送します。

▼記念品
記念テレホンカードを全戸配付し、園児、児童、生徒に対して記念品を贈呈します。

▼町旗・町章、町民憲章

町になっても、横越という地名は変わらないので、現行のものを生かし「村」を「町」に変えます。

▼町指定の木・花

木については、指定の木とせずに現在推奨の木とされているマツ、ウメ、サツキ、モミジ、サザンカに加え、コブシ、キンモクセイを新たに推奨の木とします。

▼創作事業・その他の検討

「わたしの村が町になる」と題した児童、生徒の作文を募集し、広報よこしで紹介したり、タイムカプセルとして埋めます。タイムカプセルに記念すべき品物を入れて埋め、三十年から五十年後の記念の際に開封します。

写真集「横越町の歩み」を作成し、全戸配付します。

町制施行を記念したエコバッグを五万枚作成します。

町制施行に係わる記念事業、記念式典を中心とした記録ビデオを作成します。

町民歌(横越音頭)等や文化講演会、娯楽的なものを一年以内に企画検討します。

「ふるさと自慢 うた自慢」 内容紹介

地域の特徴ある人達五人で構成する二つのグループが、一人づつカラオケで歌い、その歌唱力、演技力、表現力をチームで競うものですが、出場者一人ひとりの会話に重点をおき、その中から各地の暮らしぶり、人々の生きざまを浮き彫りにする

「ふるさと自慢」を展開するものでもあります。人気歌手をチームリーダーとして、地元出場者とスターが触れ合いを深めるもので、出場者には十分満足してもらえ、聴取者にも楽しく、微笑ましいひとときを提供するものです。なお、収録されたものについては、第一部に「ふるさと自慢・うた自慢」、第二部に「ふるさと自慢コンサート」としてゲスト歌手の歌謡ショーが二部門に分け、ラジオにより隔週で、土曜日の午後九時五分より五十分間放送されます。(日程等につきましては、決定後に広報よこし及びFMについてお知らせいたします)

写真を探しています お持ちの方はご一報ください

村では、十一月一日の町制施行に向け「横越町の歩み」を発行するため準備を進めておりますが、昭和三十年代・四十年代の村の様子わかる写真が不足

しております。そこで、写真をお持ちの方は、役場企画観光課までご一報くださるようお願いいたします。(☎3851211)

役場人事異動

(係長級以上) 8/1付

課長級()内は前職
企画観光課長 伊藤誠次(保健福祉課長)

保健福祉課長 加藤藤雄(デイサービスセンター長)
デイサービスセンター長 市村正一(総務課財政係長Ⅱ昇格)係長級
総務課財政係長 鈴木和秋(税務課主査Ⅱ昇格)

農業委員会委員選挙 無投票で当選者が決まる

七月十九日の任期満了に伴う、横越村農業委員会委員選挙が七月二日に告示されました。

立候補者が定数の十五人と同数のため、無投票当選が決定し、次の方々に鈴木選挙管理委員長から七月八日に役場で、当選証書が手渡されました。

(届け出順)
氏名 地区
○坂井 武雄 横越
○石川 清一 小杉

○岩田 義博 藤山
○中村 新之輔 沢海
○高橋 功 横越
○仲村 忠雄 二本木
○清野 稔 沢海
○吉井 與一 二本木
○神田 利次 横越
○高橋 幸隆 横越
○遠藤 文一 小杉
○松本 久雄 沢海
○五十嵐 定栄 横越
○加藤 清吾 木津
○笠原 甚威 木津

6月例会 八年度一般会計補正予算など可決

横越村議会の六月定例会が、六月二十五日、二十六日の二日の会期中開催されました。

初日は、四名の議員が一般質問に立ち、産業廃棄物処分場建設などについて村長の考えをたしました。

続いて、横越村税条例の一部改正などの専決処分四件、平成八年度一般会計補正予算案など三議案、議員発議二件が提案され、横越村行政手続条例の制定について総務委員会に付託され、

継続審査となったほかは原案どおり可決、承認されました。

また、義務教育費国庫負担制度の現行維持など請願二件については、関係委員会に付託し、二十六日の本会議で採択されました。

【おきな議案】

■八年度一般会計補正予算
補正のおもなものは、在宅介護支援センター建設工事費一千七十七万七千円・設計監理

村職員募集 申し込みは 8月19日まで

▼職種及び人員
(1) 一般事務職 若干名
(2) 保健婦 1名

委託料九十七万四千円を保健センター建設費から老人福祉費へ振替えたもの。電動昇降型ストレッチャー購入費百三十三万九千円を追加したものです。

■国民健康保険条例の一部改正について

横越村議会第一回臨時議会在、七月十九日開催されました。臨時議会在に提案された議案は、すべて、原案どおり可決されました。

横越村議会 第一回臨時議会在開催

横越村議会第一回臨時議会在が、七月十九日開催されました。

臨時議会在に提案された議案は、すべて、原案どおり可決されました。

【おきな議案】

■横越村行政手続条例の制定
処分、行政指導及び届出に
関し、共通する事項を定める
ことにより、行政運営における
公正の確保と透明性の向上

▼受験資格

(1) 一般事務職
昭和47年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた者で高等学校卒業程度の学歴を有する者(平成9年3月31日までに卒業見込みを含む)

(2) 保健婦
昭和46年4月2日以降に生まれた者で、保健婦免許取得者または、平成9年に行われる保健婦国家試験により免許を取得見込みの者

▼申込方法

8月1日から8月19日まで
に役場総務課に用意してある
受験申込書に必要事項を記入
し提出してください。

▼採用試験
・第一次試験
試験日 9月22日
会場 県立新潟南高等学校
・第二次試験
第一次試験合格者に別途通知
▼採用予定年月日
平成9年4月1日

ものです。

○本体建設工事

・契約額 一億八千二百二十八万円

○機械設備工事

・契約額 五千九十八万五千円

・契約の相手方 株式会社 新潟日立

ご厚志に感謝

村に、次の方々より社会福祉事業に役立てて欲しいと寄付がありました。

五十嵐 コシミンさん(横越)より、十万円。
日越土木工業(株)より、第七回ゴルフ大会のチャリティ収益金七万一千七百五十円。
ご厚志に感謝します。